拠点

拠点７　大田区立こども発達センター（わかばの家）

１．　運営方針・目標への取り組み

大田区立こども発達センターわかばの家は、心身の発達に遅れや偏り、またその疑いのある就学前の乳幼児に対し、基本的な自立や社会性を育むことを目的とし、早期に発達に必要な支援を行うという区の方針の下、法人のミッションである『誰もが自己実現し得る共生社会の実現』を目指し、大田区の定める運営方針により「乳幼児への支援」「保護者との連携・支援」「関係機関との連携」「地域と触れ合う施設づくり」を継続して行った。

その実践においては、本法人が長年培ってきた対人援助の基本にある『受容的交流の考え』に立脚し、「子どもが家族をはじめとする周囲の人と安心・安定した人間関係を形成することと、その人間関係を通して子ども自身の自発性や主体性を育成・強化し、社会性を促していくこと」、「家族が安定し、子どもを理解し自信を持って子育てに当たることができるよう支援すること」、「地域の支援機関との連携・協力を積極的に図るとともに、乳幼児期の療育意義の啓発・普及、地域における支援の向上に寄与し、本人や家族の地域での暮らしを支えていくこと」、「地域での切れ目のない支援の実現に寄与していくこと」を目指して活動をした。

今年度、大田区の委託事業評価があり、令和7年度から12年度の5年間の事業委託が継続して決定した。本年度も、増大したニーズに対する区立施設としての今後の方向性を検討すべく、法人の理事長、管理者、指導監督層（主任）の協働作業としての「中期計画策定プロジェクト」を、毎月、継続して実施したが、それにリンクして、子ども家庭庁より提示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、地域のインクルージョンに向けての中核的な役割を担う方針を踏まえた中長期の区立施設としてのわかばの家のあるべき姿を検討した。今後、大田区の児童福祉計画に沿って、具体的な事業の計画を区とすり合わせて、大田区の児童発達支援の計画の中で今後のわかばの家の果たす役割について具体的な検討に入ることになる。

本年度より、「ふれあいはすぬま分室」が「西蒲田分室」へと場所と名称が変更となり、リニューアルした環境で相談事業の役割を担った。少人数での運営となるため、効率的な運用を目指して運営の仕方の検討をしていく。

児童発達支援センター（単独通所）と児童発達支援事業（親子通所）の東京都福祉サービス第三者評価を受審した。結果はおおむね基準をクリアしたものであるが、改善点などは検討しサービスの向上に努めていく。

設備・環境として、わかばの家の施設の老朽化に伴って、今年度は本館の照明のLED器具への全交換とエレベーターの交換工事を行い、事業への影響は最小限にて無事に終了した。今後も、施設設備の老朽化に伴った対応が多くなっていくことが想定されるため、区と協議をしていく。

以上の運営方針のもと、次の事業を実施した。

事業区分	定　員　及び　実施人数　R7.3月末時点
相談支援（発達相談、発達評価等）	・電話相談、来所相談 ・初回アセスメント概ね600人（概ね月50件）┆572件
単独通所（児童発達支援センター）	定員36人┆36人在籍 利用率89%
親子通所（児童発達支援事業）	定員30人┆28名在籍　利用率86.3%
外来訓練（個別）	概ね448┆410人（内不定期30┆なし）【わかばの家221┆190（12┆0）/分館198┆180（12┆0）/西六郷OT 29┆40】
外来訓練（グループ）	概ね156人┆**136人**【わかばの家（心理）20┆**18**・（親子Ｇ）16 ┆┆15/分館(心理)28┆**23**・（親子Ｇ）16┆**12**/ 西六郷（心理）28┆22・（ST）16┆**14**・(ムーブメントグループ)12┆**11**・（親子Ｇ）32┆**21**】
親子サークル	概ね156人【わかばの家40人┆**39人**(2歳児20、1歳児20) 分館60人┆**46人**（2歳児40、1歳児20）/西六36人┆**31人**（2歳児36）】
子育てサロン事業	**年間延べ380人利用**
アフターケア事業	概ね100人┆**106人**
地域支援事業	・訪問支援　50件┆**60件**　　・関係機関相談┆**602件** ・子ども発達支援講演会３回（支援者向け２回、区民向け１回）
相談支援事業所（指定障害児相談支援、指定特定相談支援）	①計画相談契約者数244人/契約相談数（計画等作成）：延　839件/支援実施数（電話相談、訪問、同行、支援会議、関係機関連携対応等）：延　8719件 ②基本相談　358人　/　支援実施数　延　1161件

事業実施においては、次のことに重点的に取り組んだ。

（１）相談支援体制の整備

＊適正な来所相談数の実施

（計画）昨年度、初回相談と再来相談（初回相談後、他所での児童発達支援事業等の利用を経てからの再度の相談）を区別した受付・対応の体制を整備したことで、待機期間の減少につながった。その体制を継続しつつ、物理的に対応可能な相談数として、月に概ね50ケースを実施する。

┆適正な相談数の中で、年間通し切れ目なく相談実施することで待機児数は年間通して安定している。そのため、初回、再来ともに区別せず既存の相談枠で対応してきた。相談内容が多岐に渡るため、職員育成とともに相談の質の向上が求められている。

＊「継続相談枠」の試行的設置

（計画）継続的な相談や見守りが必要なケースについて、従来は「不定期個別」として、外来訓練の枠組みで対応しているが、今年度、試行的に一部土曜日を利用して「継続相談枠」を設定し

て対応する。

┆令和6年度は該当ケースが少なかったため既存の相談枠の中で対応した。アセスメントや保護者支援、複雑なケースへの相談対応については、大田区全体としても対応できる事業所が非常に少なく課題となっているため、今後もニーズに合わせた対応をしながら必要性や枠組みについて検証をしていく。

＊「西蒲田分室」（元「ふれあいはすぬま分室」）の円滑な活用

（計画）昨年度末「ふれあいはすぬま分室」が新舎に移転し、「西蒲田分室」へと名称変更になった。同施設を利用する他の2事業者との調整も含め、初回相談の場として円滑に有効な活用をする。

┆西蒲田分室を初回相談の場として活用していることで、相談支援の待機期間は安定している。しかし、部屋の稼働率としては余剰があるため、令和7年度は職員体制を見直し、更なる有効活用につなげる。

（2）保護者との連携、保護者支援

＊子どもの理解・子育てへの支援

（計画）各事業とも、保護者が我が子への理解を深め、我が子にとっての適切な対応や環境の調整、進路の選択をしていけるよう、必続き、必要な情報の提供や相談に努める。必要に応じて、発達や子育てについて、就学、福祉サービス等についての勉強会を実施する。

┆どの事業においても身近な存在である保護者がわが子への理解を深めることをねらいとしていることを職員間で意識しながら事業実施に努めている。

親子サークル事業においては、年間の活動の中に専門職による『お話＆相談会』を実施し乳幼児期の子どもの発達への理解を深める機会としている。外来訓練にといては『就学に向けてのお話会』を通し、就学に向けての流れや学校選択についての基本的な情報提供等を行っている。

＊親子療育の充実

（計画）引き続き、「親子通所（児童発達支援事業）」「親子サークル事業」「3歳児親子療育グループ（外来訓練事業）」等において、保護者の児への理解と親子の愛着関係の形成に焦点を当てた支援を充実させる。

┆現状、大田区内において親子療育を実施している事業所はなく、親子で参加する事業を通し、体験的に我が子への関わりを知ってもらい、それぞれの発達段階や特徴に合わせた働きかけを模索し続ける場としている。

＊（計画）父親対象の「子育てホッと講座」の実施

┆保護者自身の気づきやストレス軽減に焦点を当てた「子育てほっと講座」については、昨年同様、母親向けに2シリーズ行った。父親向けの講座の実施を検討していたが、今年度実施できなかったため、令和７年度に設定していきたいと考えている。

＊関係機関との連携による支援

（計画）多様化した家庭、家族の状況において、困難な家庭環境にある子どもが非常に増えている。子育て環境を整えていくためには、まず保護者自身の安心や安定した生活を保障し支えるためのケースワークや要保護児童対策が不可欠となる。虐待の予防的な視点をもって、迅速に必要

な関係機関と連携し、役割分担に基づいた支援体制をとっていく。

┆各事業にといては、家庭状況の把握と共有、必要に応じて関係機関への情報提供や共有、また具体的な他機関からの支援につなげるケースが増えている。それぞれの機関での役割分担については、他機関との連絡会等を通し意識し合いながら連携を図っている。

（3）就学後の支援への引継ぎ

（計画）就学後の環境になるべくスムーズに移行できるよう、引続き次のことを行う。

┆就学予定児に対して、保護者同意のもと、就学支援シートを作成している。本年度は、支援シートの各校への配布を管轄している幼児教育センターとの手続き整理を行い、1・2・3月に期日を決めてまとめて送付する形態で実施した。就学相談での検査結果を支援シートに反映するために最終回の３月の期日にぎりぎりで送付したことで、事務的なミスが発生し、結果的には保護者と確認の上、学校へ送付するに至った事案があった。令和７年度は支援シートの発行手続きを整理して行く必要があると思われる。

区内での切れ目のない支援に向けて、同じ所管の「大田区立障がい者総合サポートセンター」との連携会議を行い、特に通常級に就学する児の就学後の相談先として必要な案内と引継ぎを行う。また単独通所の卒園児については、就学先の学校（主に特別支援学校及び特別支援学級）との間で個別に引継ぎを行った。

（4）地域支援事業の強化

（計画）国の障害児施策の動向とも合わせて、地域の支援の質の底上げを図るべく、引き続き以下を実施する。

・「こども発達支援講演会」として、地域の子どもの発達に関わる「職員向けの講演会」２回と、啓発のための「区民向けの講演会」１回を開催する。開催の仕方については、参加しやすいという参加者の意見に基づき、今年度もオンライン開催にて実施する。
今年度は、懸案であったわかばの家のインターネット環境整備の工事が行われることからわかばの家からの配信を予定する。

┆わかばの家からの配信だったことから、ネット環境も安定しており、大きなトラブルなく終了した。ただし、オンライン開催では大田区の個人情報の観点から質疑応答が受けられず、参加者からは質疑応答をしたかったという意見が複数出ていた。また今年度は所内で参加する職員は配信場所での聴講をしたことで、講師からは参加者の反応を見ながら実施できることのメリットが話されていた。次年度は参集型とオンラインのハイブリットでの開催を検討していく。

┆地域のインクルージョン推進を目的とし、「保育園・幼稚園への訪問支援」を実施した。当所を利用しているお子さんに対しては保護者の了解のもと、担当者を交えて、保護者・園と三者で話し合う機会を設けた。その一方で、園の支援力を上げるべく巡回訪問の形態で行っている事業は保護者への了解を必要とせず実施しているが、本年度は職員向けに話した内容を実施後保護者に対して『わかばの家の児に対する所見』として説明を行った園があり、今後の事前の目的と枠組みの確認に際してさらに工夫が必要と考えられる。

（５）人材育成と研修の計画

（計画）

安定した事業運営と理念の実現をめざす上で、人材の定着と育成は最重要課題として、次の取組みを行う。

・法人のキャリアパス制度に基づき、職員の育成及びキャリア形成を目的とした個別育成計画を作成し、法人内外の研修に計画的に参加する。その際、育成者は本人と一緒に考える、支える姿勢を持ち、育成面談や日常のコミュニケーションを通して、各職員が安定して仕事を継続していくことや意欲向上のサポートに努める。

・引き続き、主に職員の育成を担う指導監督層の職員（主任）の育成力の向上を目指すとともに、上位者（管理者、指導主任）が育成者を支える重層的なフォロー体制をとる。
また「中期計画策定プロジェクト」を、本年度も引き続き定期開催し（月 麗囘）、法人経営層（理事長）、管理者、指導監督層の協働を通して相互のコミュニケーションを深めていく。

┆職員の育成及びキャリア形成については、施設長から副主任でわかばの家の職員を担当して行った。個別育成計画をもとに、各種研修を受け（別表参照）、また働き甲斐のある環境の配慮として、拠点内の異動などの参考とした。「中期計画策定プロジェクト」については、引き続き理事長と事務局長と共に取り組み、わかばの家のあるべき姿を計画している。

（６）業務の整理と労務環境の改善

（計画）

・少しずつ業務の整理と改善が進んできているが、引き続き多数の書類の発行や、情報の管理、事務処理や運営の手順等について、誰でもがわかりやすいように、標準化，見える化を進めていく。

・個人情報を含めての内部での情報の確認、共有については、可能な範囲でペーパーレス化を進めていく

・昨年度、業務アプリの業者のサポートのもと、新しいアプリの作成がほぼ終了した。本年度引き続き、旧来の独自開発の業務アプリからのデータ移行を進めていく。

・昨年度から区として国の処遇改善事業の活用を行うようになったが、スムーズに手続きが進むよう区に協力するとともに、引き続き法人の取り組みに合わせて、職員の給与改善を行っていく。

┆新しいアプリについては、データ移行を完了した。運用を行う中で、微調整しながら利便性をよくしているところである。介護職員等処遇改善は、法人の取り組みに合わせて行うことができた。
また、本館のイントラネット環境をwi-fi化して、内部情報の確認、共有に資した。

（７）防災体制の整備と実効性のある訓練の実施

（計画）

・引続き、感染症への対応を含めた事業継続計画(ＢＣＰ)の整備を進める。

・引き続き、消防計画に基づき、災害対策への職員の意識向上と的確な行動が可能となるよう実効性のある訓練を行う。

・災害発生時の「福祉避難所」の開設については、区の意向に基づいて対応する。

┆定期的な避難訓練のほかに、起震車での地震体験も取り入れて災害に備えた。感染症対策としては、BCPの検証と汚物処理実習などを中心に行った。

法内の事業に関しては、安全計画の策定を行った。次年度以降計画を変更しながら、実際に即したものに変更したり、不審者への対応についての項目など不足している部分の追加を行う必要がある。

（8）大田区との関係

（計画）

・引き続き、委託事業者として求められる遵守事項を遂行するとともに、所管とのやり取りを綿密に行い、やるべきことの仕分けを明確にしながら運営にあたる。
・国の障害児施策の動向と合わせて、中長期的な視点での今後の方向性とわかばの家の役割の検討について、区とのやり取りを計画的に行なう。
・大田区地域自立支援協議会、児童発達支援ネットワーク会議、相談支援連絡会、要保護児童対策協議会、大田区障害福祉施設長会議等、積極的に参加し、大田区内の関係機関、事業所と連携を進めていく。
・「ファミリーサポートおおた」の提供会員養成講座（年４回）、「相談支援従事者研修」等、大田区が実施、関与する地域での人材育成に積極的に協力する。

┆子ども家庭庁の児童発達支援ガイドラインに基づき、児童発達支援センターの役割について大田区との協議会を中心に協議をした。具体的には、今後の事業として、保育所等訪問事業の検討や関係機関との連携拡大などが挙げられている。

（9）（計画）法人の執行本部の下、経営会議、園長会、情報連絡会の他、各種係・委員会活動等を通じて、他拠点・事業所との情報の共有、事業の協力、連携を積極的に進めていく。

┆施設長、今年度から新規任用された副施設長、二名の指導主任を中心に各種プロジェクトや係に参画した。

２．月間・年間行事等実施状況

※「年間行事等実施表」添付

３． 職員体制

※組織図を添付

４．職員研修

（1） 事業所内研修の実施状況

期日	研修名	開催場所	参加者
4 月 1 日	新年度開始に当たって	わかばの家	全常勤職員 （一部非常勤）
彳月 彳日	子どもの怪我の対処法についての研修	わかばの家	支援員１２
彳月 彪 日	窒息・誤飲時の対処法について	わかばの家	支援員 16 厨房３
彳月　礽日	防災訓練　職員講習	わかばの家	支援員 4　事務 2
祂月　　日	嘔吐処理講習	わかばの家	支援員 1
月 祂日	新人フォローアップ研修	わかばの家	支援員 10
月 彪 日	保育園研修	すこやか園	支援員 1
月 彪礽日	起震車訓練	わかばの家	支援員 4
月 彪彷日 ～　日	単独通所研修	わかばの家	支援員１
月　彷日	起震車・AED 訓練	わかばの家	支援員８
彷月　他 日、彪 月 彪 日	虐待防止・権利擁護伝達研修	わかばの家	全職員
彷月　　日 彪 月　彪日、 彪日 1月 彪 日	藤井心理士職員研修会	わかばの家	常勤全職員
彪 月　彪日	WISC-Ⅴ伝達研修	わかばの家	支援員 19
彪 月　彪日	相談支援研修	わかばの家	支援員 14

霻 月　他日	感染症蔓延防止・嘔吐処理研修	わかばの家	全職員
霻月　　日	こども発達支援講演会　支援者向け　澤谷先生	わかばの家	支援員 7
霻月　　日	真野医師職員勉強会	わかばの家	支援員 27
月　日	こども発達支援講演会　区民向け　高山先生	わかばの家	支援員 15
2月17日	こども発達支援講演会　支援者向け　阿部先生	わかばの家	支援員12
2月27日	虐待防止グループワーク	わかばの家	全職員

（2）法人研修への参加状況

・全体職員研修、新人職員研修への参加

・法人内部及び法人主催研修への参加

期日	**研修名**	**開催場所**	参加者
5 月～、半年間で月 1 回	こぐま学園のケース担当	子研	支援員１
月 他日	専門職会	わかばの家	専門職１１
彷月 他日	発達障害者相談支援スキルアップ研修	ワイム貸会議室 高田馬場	相談員２
彷月　日	発達障害者相談支援スキルアップ研修「乳幼児期の発達障害～理解と支援～」	ワイム貸会議室 新宿西口	支援員 5
彷月　　日	専門職会	わかばの家	専門職 4
霻 月 彷日	WISC-Ⅴ研修	清瀬市子どもの発達支援・交流センターとことこ	支援員２
霻 月　霻日	発達障害者相談支援スキルアップ研修　発達障害のある人へのソーシャル・	ワイム貸会議室 お茶の水	支援員１

	スキルズ・トレーニング～『ＳＳＴ』という支援方法を知ろう～		
■■月 他日～	意思決定支援研修	Zoom	支援員 8
■■月　日	発達障害者相談支援スキルアップ研修「発達障害のある人へのアセスメント技術を高める」	ワイム貸会議室お茶の水 RoomA	支援員 1
■■月 ■他日	専門職会	わかばの家	専門職 8
■月　ィ日	ィ年度事務局研修「福祉の森・操作教育研修」	赤塚福祉園	事務員３
■月　ィ日	発達障害者相談支援スキルアップ研修Ⅳ	ワイム貸会議室高田馬場	支援員 1
■月　㐱日	清瀬市子どもの発達支援・交流センター公開講座『「気になる子」それは障害？特性？～「気づく」からこそ「伸ばす喜び」へ～』	清瀬市子どもの発達支援・交流センターとことこ	支援員 1
月 ■日	専門職会	わかばの家	専門職 8
月 ■ 日	令和 他年度　東京都発達障害者支援体制整備推進事業　発達障害者相談支援スキルアップ研修	ワイム貸会議室お茶の水	相談員 1
月 ■日	全体職員研修（まとめの研修）	TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART	常勤全職員 WEB 含む
月　　日	全体職員研修（そなえの研修）	わかばの家	常勤全職員

（3）外部研修への参加状況

・個別の研修計画に基づき、必要な外部研修に可能な限り参加した。

・区内関係機関の主催する各種研修会・講演会への参加。

期日	**研修名**	**主催**	**参加者**
彳月　日	LIBO幼児教育者向けWeb研修　第■回コミュニケーションの発達	自由ヶ丘こころの発達研究所	支援員1

		LIBO	
彳月　日	LIBO幼児教育者向けWeb研修　第 回 コミュニケーションの革命～共同注意～	自由ヶ丘こころの発達研究所 LIBO	支援員1
彳月 彫彳日	特定給食施設指導連絡会	大田区保健所蒲田地域保健課	栄養士1
彳月 彫日	食品衛生講習会	大田区保健所生活衛生課	栄養士1
彳月　日	令和徃年度第彫回複合課題対応研修「多機関・多職種の福祉従事者と共に学び考える発達障害」	大田区福祉人材育成・交流センター	相談員2
徃月 彫 日	主任ねっ都オンライン研修	東京都相談支援専門員ネットワーク	相談員１
徃月 彫 日	大田区要保護児童対策地域協議会援助機関向け講演会「法的視点から見る子どもの権利擁護について～居場所のない子ども達～」	きっずな大森	相談員1
徃月 徃日	福祉従事者フォローアップセミナー vol.彫 福祉従事者Cafe	大田区福祉人材育成・交流センター	相談員1
徃月 徃日	令和徃年度東京都相談支援従事者現任研修　連絡会おおた	東京都心身障害者福祉センター	相談員1
月彳日	大田区看護師連絡会	大田区看護師連絡会	看護師１
月 彫 日	令和徃年度東京都相談支援従事者現任研修	東京都心身障害者福祉センター	相談員1
月彫徃日	LIBO幼児教育者向けWeb研修　第 回 遊びを通してかかわる	自由ヶ丘こころの発達研究所 LIBO	支援員4
7月　日・ 日・彳月 日・彳日	令和６年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修	わかばの家	支援員2

月彪日	水害時高齢者・障がい者向けマイ・タイムライン講習会	福祉管理課	相談員１
月彪日	大田区福祉人材育成スキル向上セミナー　仕事の教え方	大田区福祉人材育成・交流センター交流センター	支援員1
月　彪日～月彪彷日	第彳回てんかん基礎講座	公益社団法人日本てんかん協会	看護師2
月　日	特別支援教室「サポートルーム」交流会	大田区立志茂田小学校	支援員２
/　彪，/彪他～彷他	令和他年度東京都心身障害者福祉センター第彪回高次脳機能障害者相談支援研修会「高次脳機能障害の基礎知識」	東京都心身障害者福祉センター	相談員2
月彪日	相談支援従事者現任研修SV	東京都心身障害者福祉センター	相談員１
/彪彳彪他	令和他年度東京都相談支援従事者現任研修	東京都心身障害者福祉センター	相談員１
月　日	LIBO幼児教育者向けWeb研修　第 回遊びを広げ水準を上げる	自由ヶ丘こころの発達研究所LIBO	支援員4
彷月彳日	第 回栄養士連絡会	大田区栄養士連絡会	栄養士1
彷月彷日～彪彷日	相談支援従事者初任者研修講義	福祉人材育成・交流センター	相談員2
彷月彪彳日彪月　日・彳日	児童発達支援管理責任者更新研修（オンライン併用）	公益財団法人総合健康推進財団	支援員1
彪月　彪日～彳日	相談支援従事者初任者研修講義	東京都心身障害者福祉センター	相談員2
彪月　彳日	人事・経営者ならこれだけは把握しておきたい！～人事・労務の法改正を総点検～	アデコ（株）	事務員1
彪彪月彪彳日	全従業員のうち知的障害者が 割就労している株式会社で、障害を持つ従業員がどのように働いているのか、周り	日本理化学工業株式会社	相談員1

	がどのように合理的配慮をして共に働いているのか見学		
麗麗月　～ 影日	相談支援事業者初任者研修	東京都心身障害者福祉センター	相談員2
麗麗月 他日	令和他年度エリアネットワーク研修会	大田区教育委員会	支援員1
影月他日	大田区看護師連絡会講演会『はじめての応用行動分析～「できる！」を伸ばす・作る、行動のとらえ方～』	大田区看護師連絡会、大田区南六郷福祉園	看護師1
影月影日	特定給食施設講習会「日本人の食事摂取基準（　　祢年版）～改定に向けて知っておきたいこと～」	大田区保健所蒲田地域健康課	栄養士1
影月影日	大田区の相談支援体制について説明会	東京都心身障害者福祉センター	相談員2
影月影日～麗他日	東京都サービス管理責任者実践研修および児童発達管理責任者実践研修	公益財団法人総合健康推進財団	支援員1
麗月彷日、影日	相談支援事業所向け集団指導	大田区福祉部福祉管理課	相談員4
麗月影日、日	初任者研修SV	東京都心身障害者福祉センター	相談員2
麗月麗他日～影日	東京都サービス管理責任者実践研修及び児童発達支援管理責任者実践研修	東京都サービス管理責任者等研修事務局	支援員1
麗月　日	メンタルヘルスを良好に保ちながら働く方法	東京都社会福祉法人協議会知的発達部会利用者支援研究会支援スタッフ会	支援員１
麗月 麗日	令和他年度公正採用選考人権啓発推進員研修会	大森公共職業安定所	施設長1
麗月 他日～日	相談支援事業者初任者研修	東京都心身障害者福祉センター	相談員2
麗月　日	東京都災害派遣福祉チーム（東京DWAT）令和他年度第 回登録研修会	社会福祉法人東京都社会福祉協議会	事務員1
月影日	第 回栄養士連絡会		栄養士1

月　日	令和他年度大田区家庭・地域教育力向上支援事業　家庭教育学習会講師派遣ダウン症の人のライフステージに応じた支援を考える～青年期・成人期を自分らしく豊かに過ごすために～	大田区ダウン症児を育てる親の会「キャロットクラブ」	相談員1
月　日	発達凸凹基礎講座　発達障害と愛着障害：目の前の子どもを正しく理解するために～子どもをまるごと生物心理社会学的にとらえる～	田口教育研究所	支援員１
月 日	福祉従事者研修　支援者が知っておきたい意思決定支援	大田区社会福祉協議会おおた成年後見センター	相談員１
月 彷日	令和他年度第 回支援者向けセミナー「M-CHATの活用を通した発達障害児と家族への早期支援の充実」	国立障碍者リハビリテーションセンター発達障害情報支援センター	相談員１

５．実習生・研修生の受け入れ

（1）実習生

本年度も新型コロナウィルスの感染防止対策に注意し、人数を限定して受け入れた。

目的・内容	**学校名**	**人数**	**実習場所**	**期間**
保育士資格実習	竹早教員保育士養成所	１名	単独通所	彷　～彷 彫
	大妻女子大学	１名		他彫～ /
	洗足こども短期大学	彫名		/彫～ /彫
	東京都市大学	彫名		/ 彷～ /彷
	國學院大学	１名		/彫～ /
	白梅学園大学	彫名		彷　～彷彫彷
	昭和女子大学	彫名		彷彫～彷
	東京未来大学	１名		彫/彫他～彫/ 彫
	日本女子体育大学	１名		彫彫彷～彫彫 彫
	日本体育大学	彫名		彫彫彫～彫/
	武蔵野大学	１名		/ ～ /彫彷
	日本児童教育専門学校	彫名		/ 彷～ /彫 本人都合で中止

保健師実習作業療法士実習（半日見学保育師実修	東京工科大学作業療法学科 彪年生	各　名×４回	単独通所	徂　，徂彪，徂　彪　徂　，/彪
	東京工科大学看護学科	各　名	単独通所、親子通所、外来訓練、相談支援事業	７/彪～ / / 彳～ / 他
歯科実習	昭和歯科大学	各　名	単独通所	彪/　、　彷彪彪约 徂彪/彪彪

（２）　研修生

大田区の職員の研修の受け入れを行った

・子ども家庭支援センターの心理師（研修）　3名

・地域健康課の保健師見学研修　4名

６．福利厚生

（１）　定期健康診断(若年層健診)

・対象　：全常勤職員、非常勤職員一部（健康保険対象者）　→　18名実施

・実施日　：5月末～10月末

・場所　：牧田総合病院健診センター　、新宿区フィオーレ健診クリニック

（２）生活習慣病健診

・対象　：35歳以上の職員　　→　49名実施

・実施日　：5月末～10月末

・場所　：牧田総合病院健診センター、新宿区フィオーレ健診クリニック

（３）便の細菌検査

・対象　：全職員：年2回　→69名実施

厨房職員、単独通所(非常勤補助職員含む)：毎月1回

（４）ストレスチェック

・対象　：全常勤職員、非常勤職員一部（健康保険対象者）→　63名実施

７．そ の 他（建物改修、設備・備品等購入等）

（計画）

・建物の経年老朽化に伴い、環境・設備等の不具合や破損が生じやすい。引き続き日常の点検・整備に注意し、区への連絡・報告を密にしながら修理を依頼し、安全保持・衛生保持に努める。

・昨年度決定したエレベーターの取替工事が6月から8月にかけて実施される。工期の調整、事業運営の調整等、区や事業者と連絡・調整を密にしながら、なるべく利用者への負担が最小限に

なるよう進めていく。

┆昨年度決定したエレベーターの取替工事が6月から8月にかけて実施された。全館の照明が蛍光灯からLED照明に交換された。また、次年度は、厨房内床面の防滑工事や、本館の玄関タイル部分の工事なども予定されている。引き続き、なるべく利用者への負担が最小限になるようすすめていく。

建物の経年老朽化に伴い、環境・設備等の不具合や破損が生じやすい。引き続き日常の点検・整備に注意し、区への連絡・報告を密にしながら修理を依頼し、安全保持・衛生保持に努めた。主な修繕としては、本館2階廊下、本館3階会議室、分館廊下、西六郷分室職員室の各エアコン交換があった。

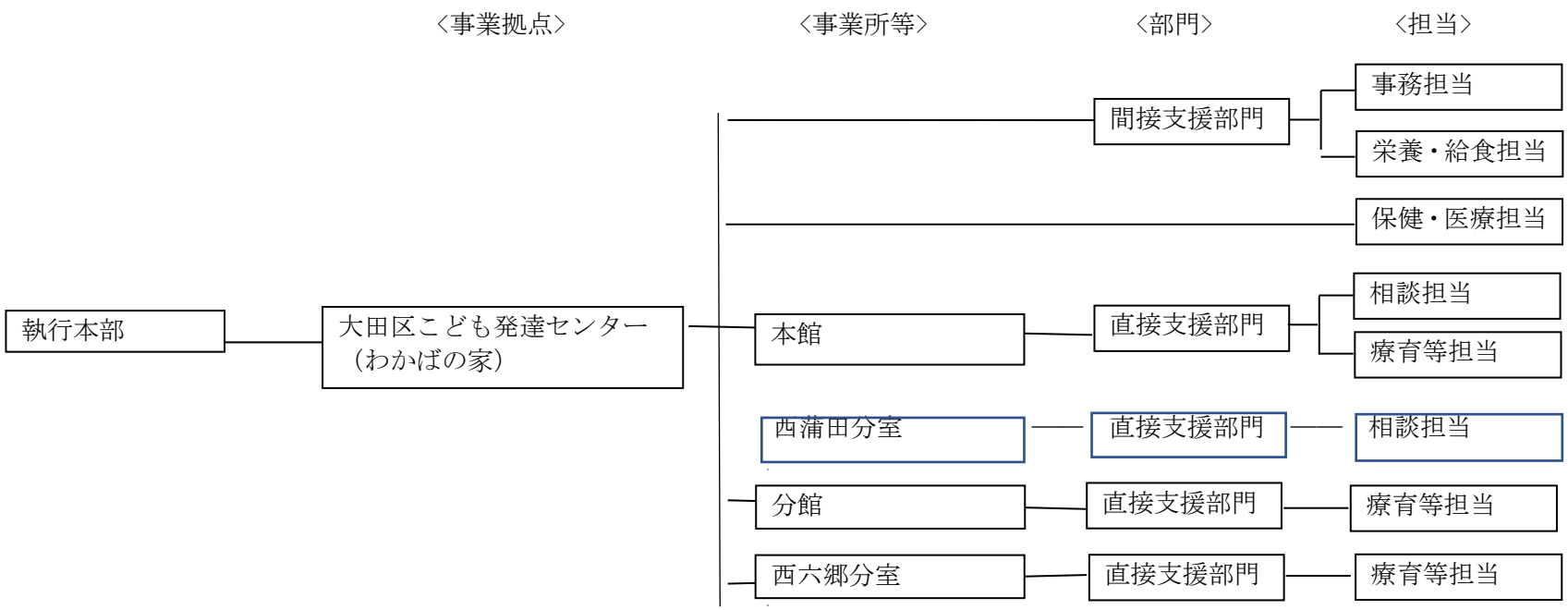
別　紙(事業報告書関係)

わかばの家 年 間 行 事 等 実 施 表

項目 / 月日	行事				職員研修・職員会議等		災害訓練		健康管理・衛生管理		その他	
	単独通所・親子通所		【外】…外来訓練事業 【ア】…アフターケア事業 【地】…地域支援事業		【法】…法人主催研修				＊…単独通所・親子通所定期健診		【法】…法人行事等	
	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容	日	内容
4月	4・5 9 8・12	【親】契約会・ オリエンテーション 【単】入園式 【親】新年度利用開始			1 9 25	年度当初全体会議 中期計画策定PJ（月1） 全体職員会議(毎月1)) 各事業職員会議 内部研修・外部研修随時	24	防災訓練（月１回）	 25	職員細菌検査（年2回/厨房、単独通所職員月1回） 衛生委員会（毎月１）	1 15. 16 17 18 19	【法】辞令交付式 ・就学相談説明会 （教育センター） 区との定例会
5月					1 14 23	運営会（WEB） 中期計画策定PJ 全体職員会議 各事業職員会議	30	防災訓練	20 23	＊内科健診（年5回） 衛生委員会 職員定期健診（～10月）	17	区との定例会
6月				【ア】グループ	5 11	運営会（WEB） 中期計画策定PJ	28	防災訓練	15 27	＊眼科健診（年2回 衛生委員会	21	区との定例会

					27	全体職員会議 各事業職員会議 【法】新人職員フォローアップ研修					30	エレベータ修繕開始
7月		七夕行事		【ア】グループ	3 9 25	運営会（WEB） 中期計画策定ＰＪ 全体職員会議 各事業職員会議	25	防災訓練	18 23 25	＊耳鼻科健診 ＊ 内科健診 衛生委員会	19	区との定例会
8月	13～16 26 ～ 30	自主通所期間 自主通所期間		【ア】グループ	7 13 22	運営会（WEB） 中期計画策定ＰＪ 全体職員会議 各事業職員会議	23	防災訓練 救急蘇生法実施訓練	22	衛生委員会	20	区との定例会
9月		【単】バスハイク 【単】給食試食会		【ア】グループ 【外】保護者支援講座	4 10 26	運営会（WEB） 中期計画策定PJ 全体職員会議 各事業職員会議	26	防災訓練	9 26 30	歯科健診（年１回） 衛生委員会 ＊内科健診	18 20	LED工事開始 区との定例会
10月	19 20	【単】みんなで遊ぼう会 【親】日曜参観（いちご）	18	・運営委員会（区、法人、利用者代表）	2 8	運営会（WEB） 中期計画策定PJ	15	防災訓練 （引きつぎ訓練）	18 24	＊眼科健診 衛生委員会	18	区との定例会

	27	【親】日曜参観（ばなな）			24	全体職員会議 各事業職員会議						
11月	10	こどもまつり 【単】 （→11 振休、 １２ ばなな振休）	10	こどもまつり 【外】保護者支援講座 【ア】グループ	6 12 28	運営会（WEB） 中期計画策定ＰＪ 全体職員会議 各事業職員会議	22	防災訓練	28	衛生委員会	15	区との定例会
12月	6 14 23・24 25 25 27 29～	【単】バスハイク 【単】ビデオ参観 【親】クリスマス会 【単】クリスマス会 【親】年末通所終了 【単】年末 通所終了 自主通所 冬季休暇		【ア】 グループ	4 10 26	運営会（WEB） 中期計画策定ＰＪ 全体職員会議 各事業職員会議	16	防災訓練	10 19 26	＊内科健診 ＊耳鼻科健診 衛生委員会	20	区との定例会
１月	～３ 6 18	冬季休暇 新年 通所開始 【単】ビデオ参観	22	【地】講演会（支援者） 【ア】グループ	1 14 23	運営会（WEB） 中期計画策定ＰＪ 全体職員会 各事業職員会議	24	防災訓練	23	衛生委員会	17	区との定例会

２月	3 罷	節分行事	3 【地】講演会（区民） 【ア】　グ　ル ープ 【地】講演会（支援者）	５ 11 27	運営会（WEB） 中期計画策定ＰＪ 全体職員会議 【法】全体職員研修 各事業職員会議	27	防災訓練	27	衛生委員会	21	区との定例会
３月	3 21,24 24 25 26～	ひな祭り行事 【親】終了日 【単】終了日 【単】卒園式 自主通所			5 11 26 28	運営会（WEB） 中期計画策定ＰＪ 【法】新人研修 全体職員会議 新人オリエンテーショ 各事業職員会議	21	防災訓練	10 26	＊内科健診 衛生委員会	21	区との定例会

事業拠点組織図(大田区立こども発達センター（わかばの家）)